



2020夏期 ベトナム・カンボジア インターンシップ型スタディーツアー

後援 | 国際機関日本アセアンセンター
在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館
在大阪カンボジア王国名誉領事館
在日本国カンボジア王国観光省



山田英男

在大阪カンボジア王国名誉領事



松岡広隆

元衆議院議員
JAPF 代表理事



中野朝加

JAPF学生委員会代表
名古屋学芸大学4年生
2018年春期 2 カ国研修修了

アジア諸国との懸け橋を担う

我が国は、カンボジアの発展のために大きな役割を果たしてきました。しかし今後は経済的な支援だけでなく、日本国内の若い方々がカンボジアに目を向け、現地の人々と直接関わり合いを持って各方面での振興を目的とした「人の支援」を行う事がより一層必要だと考えています。カンボジアの教育・文化・農業・経済など各方面での振興を目的とした活動やアジア諸国からの留学生支援・交流活動を行う日本アジア振興財団（JAPF）はカンボジアだけでなくアジア諸国との懸け橋を担うものであると確信しております。皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最も重要な要素は「人」である

JAPFは大使館・総領事館等の在日外国公館のご支援のもと発足し、今年で14年目を迎えます。日本アジア諸国の懸け橋となることを目的にタイ・ベトナム・カンボジア・フィリピンを中心としたインターンシップ派遣・保育園関連事業など国内外で人材育成・交流の活動を行ってまいりましたが、日本とアジア諸国が本当の意味で親交するために最も重要な要素は「人」であると考えられます。日本とアジア諸国との懸け橋になる「人」になるためのきっかけとして当財団のインターンシップに参加していただけたら幸いです。

「知ること」が世界を変えゆく力となる

自身の知っている事象の中からしか人生の選択、命の使い方を決めていくことは出来ません。だからこそ私達のインターンシップ企画は、世界の真実を“知ること”にこだわり抜きます。インターンシップを通し目にするもの、耳にする言葉、湧き上がる想い全てが、参加される方一人ひとりの新たな道を切り拓く一助となるよう。そしてその歩みがいつか世界を変えゆく力へと繋がると信じています。

忙しく流れていく学生という日々、例え世界に対し今は微力であろうとも決して無力ではないという事を、力強く刻み込む瞬間に数多く出会えるはずです。携わる全ての人の糧となり誇りとなる経験を創り出せるよう、私達は日々精進してまいります。

01

日本唯一の公的機関後援インターンシップ事業

JAPFのインターンシップは、公的機関後援のもとに企画・運営されています。

安心・信頼

公的機関後援のもとに企画・運営されているため、安全性・信頼性が保証されています。

修了証

在大阪カンボジア王国名誉領事館より、現地調査研修修了証が発行されます。就職活動等で履歴書に記載できます。

現地公的機関
の訪問

後援団体のサポートにより、観光では訪れることのできない現地の公的機関・施設へ訪問できます。

02

多分野を総括的に研修 (p.5-10)

研修内容は、歴史を軸に6つの分野（平和・医療・社会・産業・教育・文化）を網羅しており、一日に1～3箇所の研修先を訪問します。

03

充実した学習サポート

参加者支援として、出発前から帰国後の学習サポートが充実しています。

オリエンテーション

安心して研修に参加していただくために、出国前に事前学習、懇親会等を行います。

事後研修

帰国後に、参加者主体でディスカッションを含む研修を企画し、研修で得た学びを深めます。

04

「スタディー」を加速させるディスカッション

学びや気づきを深めるために、研修期間中は一日の終わりに意見交換を行います。

多角的な視点

異なる学年・学部参加者と学びや気づきを共有し、課題を多角的に捉えます。

予想外の発想

参加者同士の異なる価値観や考え方が出会うことで、全く予想もできない新たな発想が生まれます。

一人も
取り残さない

一人ひとりの視点を大切にするため、知識や経験に自信がない参加者も安心して意見交換できるように、知識提供等のサポートを行います。

ベトナム・カンボジア2ヵ国研修

訪問国

ベトナム・カンボジア

期間（12日間）

2020年8月16日（日）－ 8月27日（木）

金額

189,000円（消費税込み / 航空券諸税別）

往復航空券、現地移動交通費、宿泊費、自由行動以外の食事代、現地添乗員費、研修費が含まれます。

対象

30歳以下で大学・大学院・専門学校在籍者

登録締め切り

2020年6月24日（水）必着（先着順）

定員になり次第締め切りとなります。ご了承ください。

最小実施人数

15人

利用予定便

空港名	成田国際空港	中部国際空港	関西国際空港	福岡空港
往路 (2020年8月16日)	09:30 発 VN301 便	10:00 発 VN341 便	10:30 発 VN321 便	10:30 発 VN351 便
復路 (2020年8月27日)	08:00 着 VN300 便	06:55 着 VN346 便	06:40 着 VN330 便	07:20 着 VN356 便

研修スケジュール
(例)

	宿泊地	研修内容
1日目	ホーチミン	☐ 各空港→ベトナム/ホーチミン ☐ 戦争証跡博物館
2日目	ホーチミン	☐ クチトンネル ☐ ドンコイ通り
3日目	プノンペン	☐ ホーチミンからプノンペンへ移動 ☐ 陸路で国境越え ☐ CHA
4日目	プノンペン	☐ vギリロムネイチャー ☐ トゥールスレン収容所博物館 ☐ キリングフィールド
5日目	プノンペン	☐ 観光省 ☐ HOPE医療センター ☐ 王立プノンペン大学 ☐ 王宮
6日目	プノンペン	☐ Sui-Joh ☐ KURATAペッパー ☐ CYK ☐ AEONモール
7日目	シェムリアップ	☐ CCH孤児院 ☐ プノンペンからシェムリアップへ移動
8日目	シェムリアップ	☐ アンコール遺跡群+遺跡修復体験
9日目	シェムリアップ	☐ 農村 ☐ トンレサップ湖クルーズ
10日目	シェムリアップ	☐ ゴミ山 ☐ アキラ地雷博物館 ☐ ナイトマーケット
11日目	機内泊	☐ sala susu ☐ ディスカッション ☐ 夜：空港へ
12日目	帰国	☐ 午前中、各空港に到着

* 過去実施例：研修内容が変更となる場合があります。

訪問国 **カンボジア**期間 (8日間) **2020年8月30日 (日) - 9月6日 (日)**金額 **159,000円** (消費税込み / 航空券諸税別)

往復航空券, 現地移動交通費, 宿泊費, 自由行動以外の食事代, 現地添乗員費, 研修費が含まれます。

対象 **30歳以下で大学・大学院・専門学校在籍者**登録締め切り **2020年7月8日 (水) 必着 (先着順)**

定員になり次第締め切りとなります。ご了承ください。

最小実施人数 **15人**

利用予定便	空港名	成田国際空港	中部国際空港	関西国際空港	福岡空港
往路 (2020年8月30日)		09:30 発 VN301 便	10:00 発 VN341 便	10:30 発 VN321 便	10:30 発 VN351 便
復路 (2020年9月6日)		07:35 着 VN310 便	06:55 着 VN346 便	06:40 着 VN330 便	07:20 着 VN356 便

研修スケジュール
(例)

	宿泊地	研修内容
1日目	プノンペン	☐ 各空港→カンボジア/プノンペン
2日目	プノンペン	☐ Sui-Joh ☐ 観光省 ☐ 王立プノンペン大学 ☐ 王宮
3日目	プノンペン	☐ トゥールスレン収容所博物館 ☐ キリングフィールド ☐ HOPE医療センター ☐ AEONモール
4日目	シェムリアップ	☐ CCH孤児院 ☐ プノンペンからシェムリアップへ移動 ☐ ナイトマーケット
5日目	シェムリアップ	☐ ゴミ山 ☐ 農村
6日目	シェムリアップ	☐ アキラー地雷博物館 ☐ 自由行動 ☐ ディスカッション
7日目	機内泊	☐ アンコール遺跡群+遺跡修復体験 ☐ 夜：空港へ
8日目	帰国	☐ 午前中、各空港に到着

* 過去実施例：研修内容が変更となる場合があります。

※航空会社、旅行会社、外務省の通達や勧告等により催行を見合わせる可能性があります。

平和分野



▲ 戦争証跡博物館（ベトナム）

ベトナム戦争をたどる

ベトナムでは、戦争証跡博物館とクチトンネルを訪問します。米ソ対立の“代理戦争”とも言われるベトナム戦争について、実際に見て聞いて、トンネルを歩くことができます！戦争との向き合い方、伝え方についても考えます。

負の遺産を巡る

カンボジアでは、約45年前の独裁政権による拷問、虐殺の跡を巡ります。また、当時埋められた地雷の撤去作業に携わるアキ・ラーさんにお話を伺います。今の日本では考えられないような物事の連続に自分がどう感じるのか、現地の人はどう思っているのか、比較して考えてみます。



▲ クチトンネル（ベトナム）



▲ アキ・ラー地雷博物館（カンボジア）

訪問施設例

戦争証跡博物館、クチトンネル、アキ・ラー地雷博物館など

* 上記は訪問施設の一部であり、実際の研修内容は異なる場合があります。

参加者の声（渡邊果さん / 女性 / 岩手大学）

キングフィールドやトゥールスレン収容所への訪問から、教科書でしか知らなかったポルボト政権時の虐殺が最近の出来事であったこと、同じアジアの国に住む者としてあまりカンボジアの歴史について知らなかったということを痛感しました。初めての海外でかなり衝撃を受けた研修先でしたが、旅行では得ることのできないデリケートな学びを通して得た異文化理解のやり甲斐は、ツアー後の国際交流に大きな影響を与えてくれました。真面目な要素もあることで、自分の考え方を更に深めることが出来たので、行ってよかったと思っています。

医療分野



▲ Sunrise Japan Hospital (カンボジア)

カンボジアの医療事情

カンボジアでは、HIV感染者や地雷により四肢に障がいを抱える人が少なくありません。また、所得格差による診察・治療機会の差も社会問題となっています。研修では、第一線で活躍する専門家の方から、これらの現状に対する国際支援の役割についてお話を伺います。

理想の医療とは

訪問する病院は、診察・治療のみを行っているわけではありません。例えば、経済的に貧しい人でも治療を受けられる制度を整えている病院。例えば、カンボジアの医療人材の育成や医療による経済発展を目指す病院。カンボジア医療の今と未来について、日本と比較しながら考えます。



▲ Sunrise Japan Hospital (カンボジア)

訪問施設例

HOPE医療センター、
Sunrise Japan Hospitalなど

* 上記は訪問施設の一例であり、実際の研修内容は異なる場合があります。



▲ HOPE医療センター (カンボジア)

参加者の声（早見直樹さん / 男性 / 大阪大学）

私は途上国の医療に興味があって参加し、多分野と言われる中でも正直、医療にしか興味がありませんでした。しかし、研修を通し、自分の視野の狭さを痛感しました。救急車が通る道、公衆衛生という概念等、医療がインフラや教育、社会と密接に関わり、その上で成り立つものなのだと感じました。当たり前に整っている日本に在るだけでは得られない視点でした。実際に体験したからこそ広がる世界を、1人でも多くの学生に感じて欲しいです！

社会分野



▲ ゴミ山（カンボジア）

消費の裏側を知る

「ゴミ山」と聞いてどんなイメージを浮かべるでしょうか。もちろん、環境衛生的に問題ではありますが、そこではゴミを拾って生計を立てている人々も存在します。研修では、実際にゴミ山を訪問し、目・耳、そして鼻で観察します。ゴミ山の存在意義とは？

豊かさを考える

農村訪問は、現地の人の暮らしに触れる一番の機会です。都市部と比較して、その格差も考えます。また、農村にある学校を訪問して、子どもたちとの交流も。“幸せ”の基準・発展の意義について示唆が得られるかもしれません。



▲ 農村視察（カンボジア）

訪問施設例

ゴミ山、農村視察、JICAなど



▲ JICA（カンボジア）

* 上記は訪問施設の一例であり、実際の研修内容は異なる場合があります。

参加者の声（A・Sさん / 女性 / 早稲田大学）

クメール語が分からず、農村訪問の際に現地の子供たちと会話は出来ませんでしたが、交流は時を忘れる程楽しかったです。なぜなら「笑顔」が世界共通語であったから。輝く瞳と眩しい笑顔を持つ現地の子供たちからは「今を精一杯楽しく生きる力」を感じました。スマホやゲームに夢中になる日本の子供と彼らでは、どちらが幸せなのか、豊かさって何だろうか…と「当たり前」を考え直すきっかけが得られました。

産業分野



▲ 観光省（カンボジア）

王国の描く観光戦略とは

カンボジア王国観光省は、公的機関後援のある本研修ならではの訪問先です。カンボジアにおいて、観光産業はどんな位置づけがなされているのでしょうか。王国の描く、外国人向け“観光戦略”に迫ります。

ビジネス×国際協力

公的機関訪問があるなら、民間企業にも訪問したいですね。研修では、KURATAペッパー、Sui-Johなど、日本人がカンボジアで起こした会社へ伺います。ビジネスという形をとる国際協力とも捉えられるかもしれません。代表の方のお話は、働き方・生き方についても考えさせられます。



▲ Sui-Joh（カンボジア）



▲ KUARTAペッパー（カンボジア）

訪問施設例

観光省、Sui-Joh、
KURATAペッパーなど

* 上記は訪問施設の一例であり、実際の研修内容は異なる場合があります。

参加者の声（細野晃平さん / 男性 / 室蘭工業大学）

この分野では、行動することの重要性を学ぶことができます。研修では、日本人起業家の方から、カンボジアで起業する経緯についてお話を聞くことができました。僕はこの話を聞いて、キャリアデザインを見つめ直し、失敗を恐れずにチャレンジしようと考えようになりました。人生の原動力を得ることができる研修だったと思います。

教育分野



▲ プノンベン王立大学（カンボジア）

どうして日本語？

カンボジアでは、日本語を学ぶ学生が少なくありません。研修では現地学生と日本語で交流することができます。なぜ、彼らは日本語を学ぶのでしょうか？同年代の彼らの思いに触れ、自身の勉強や人生についても考えます。



▲ プノンベン王立大学（カンボジア）

教育支援は必要か？

教育は全ての“はじまり”と言えるかもしれません。いまだ、全ての子どもが十分な教育を享受していない状況において、多くの国際教育支援団体がカンボジアで活動しています。研修では、そんな教育支援団体にお話を伺い、“本当の支援とは何か”をダイレクトに問います。

訪問施設例

プノンベン王立大学、CIESFなど

* 上記は訪問施設の一例であり、実際の研修内容は異なる場合があります。



▲ CIESF（カンボジア）

参加者の声（柳原沙紀さん / 女性 / 長崎国際大学）

あなたは教育支援についてどのくらい知っていますか？私は教育支援について全く知りませんでした。しかし、ツアーに参加して、日本語教育や学校建設をはじめとする数多くの支援の存在を知りました。支援を受ける生徒達は、“与えられた教育”に対して真摯に向き合っていました。その時私は、改めて自分が勉強できることの尊さ、ありがたさを感じました。自分とも、途上国の子どもたちとも向き合える研修が詰め込まれていると感じました！

文化分野



▲ アンコール遺跡群（カンボジア）

歴史を感じる

カンボジアではアンコールワットが有名ですが、それ以外にも素晴らしい遺跡がたくさんあります。研修ではアンコールワットで朝日を見た後、さらにいくつかの遺跡を回ります。ヒンドゥー教と仏教が混じり合った、独特の雰囲気と壮大さに圧倒されること間違いなし！

修復作業を体験！

そんな素晴らしい遺跡群ですが、内戦で多くの遺跡に被害が及びました。これまで国際協力の一環で修復作業がなされ、日本人も関わっています。研修では、その地道な修復作業の一端を体験します。実際に修復作業をすることで、また違った視点で遺跡を見つめます。



▲ アンコールトム南大門（カンボジア）



▲ ロリュオス遺跡群での修復体験（カンボジア）

訪問施設例

アンコール遺跡群、
ロリュオス遺跡群など

* 上記は訪問施設の一例であり、実際の研修内容は異なる場合があります。

参加者の声（和泉翼さん / 男性 / 京都先端科学大学）

どうして遺跡から木が生えているんだろう？アンコールワットを訪れた時、こんな疑問が浮かびました。遺跡修復体験では、遺跡が内戦で破壊されたものと聞き、内戦によって遺跡の文化的価値や保護してきた人々の思いが失われることを知りました。文化分野がその他の分野の出来事と繋がっていることがわかり、問題を解決するために多角的な視点を持つ大切さを知りました。

お手続き全体の流れ



説明会・資料請求

説明会は、全国6地域（東京・大阪・京都・兵庫・名古屋・福岡）にて開催予定のほか、個別説明会も開催を予定しています。＊説明会へのご参加は任意です。研修参加に必要な『JAPFメンバー登録申込書』は、当財団HPからも請求できます。

説明会や資料請求の詳細は、当財団HPをご参照ください。



JAPFメンバー登録・お申込み

- (1) 【JAPFメンバー登録】JAPFメンバー登録申込書のご提出
①登録申込書を郵送 or ②当財団HPで申込みフォームを送信
提出期限：
■ ベトナム・カンボジア 2ヵ国研修 | 2020年6月24日(水) 必着
■ カンボジア 1ヵ国研修 | 2020年7月8日(水) 必着
- (2) 【旅行申込み】旅行会社宛お申込み手続き ＊郵送にてご案内します。
- (3) 【申込み金】参加費一部代金（3万円）のお振込み
- (4) 【パスポートの準備】パスポートコピーのご提出
＊パスポートの申請から取得までに約2週間を要します。余裕を持ってご準備ください。
- (5) 【参加費】参加費残金のお振込み
- (6) 【ビザ申請】ビザのご取得
＊ビザの申請から取得までに2営業日以上を要します。申請方法等は郵送にてご案内します。



オリエンテーション・勉強会

オリエンテーションでは、持ち物・注意事項の確認、現地語講座等を予定しています。また、在大阪カンボジア王国名誉領事館開催の勉強会（関西のみ）を予定しています。＊オリエンテーション・勉強会へのご参加は必須ではありません。



スタディーツアー

公的機関を含む多分野の研修先を訪問し、現地の方々や参加者同士の交流を通じて、一人ひとりに「気づき」の場を提供します。



修了式・事後研修

帰国後、論文をご提出いただいた方へ修了証書を発行します。

また、参加者を中心に事後研修を企画・実施し、研修で得た学びを深めます。

＊修了式・事後研修へのご参加は必須ではありません。

修了式へのご参加が難しい方には、修了証書をご自宅に郵送します。



平山 双葉

関西大学 政策創造学部 2 年（ツアー参加時）
2019 年春期 2 カ国研修修了

「参加したきっかけを教えてください。」

意味のある留学経験を持ちたいと思っていたからです。小学生の頃から国際協力というものに興味を持ち、一度は必ず現地に行って、何かアクションを起こしたいと考えていました。大学生になり JAPF のポスターを見て、一日一日充実した内容で国際協力や開発について学べ、意味のある日々を送ることができると思い参加を決めました。

「実際に参加してみて、どう感じましたか？」

自分の人生において、この 12 日間はターニングポイントだと言える瞬間になったと思っています。私たちの当 たり前が当たり前でない世界で、今まで出会ったことのない人たちとたくさん出会って、過去を知り、現実を見て、未来を考える。そこで出会う考えには、自分以外の多様な考えが沢山ありました。そこで得たものは知識だけでなく、様々なものの考え方や、先入観にとらわれない多角的な目線など、これからの人生に必要な要素を得ることができたと思っています。

「これから研修で得た学びをどう活かしますか？」

国際協力のあり方や、支援のあり方について深く考えるようになりました。そのため、大学の授業でも国際協力や開発に関わる授業を取っています。本当の支援とは何なのかを大学で得る知識と共に、このツアーで見た景色や出会った現地の人々、学んだことを踏まえながら考えるようになりました。



矢野 泰志

岡山大学 教育学部技術専修 3 年（ツアー参加時）
2019 年夏期 1 カ国研修修了

「参加したきっかけを教えてください。」

大学内のポスターとパンフレットを見た事がきっかけです。グローバル化が進行する中、他国の価値観について学びたいと考えていました。その思いをこのツアーなら叶えられると思い、参加を決意しました。また、後援・支援が充実している点や事前と事後の研修なども決め手の 1 つです。

「実際に参加してみて、どう感じましたか？」

6 分野の学びを通して多角的な視点を得る事が出来ました。自分の目標である「価値観について学ぶ」についても達成することが出来たと思います。毎晩、ツアーの仲間たちと学びを深めるために行ったディスカッションによって、思考力やコミュニケーション力も向上したように思います。また、ツアーの仲間達との友情はかけがえのないものとなりました。

「これから研修で得た学びをどう活かしますか？」

グローバル化の進行により他国の方々との関わりが増える中、お互いに尊重し合いながら生活することはとても大事だと感じました。言語を学ぶこと以上に大切な事を学ぶことが出来たと思います。ツアーを通して、自分の将来や日常について見つめなおす良いきっかけとなりました。この学びを忘れず、「国際人」として社会に貢献できる人材に成長していきたいです。

現地語や英語が話せませんが、大丈夫ですか？

現地では、日本語と現地語が話せる現地ガイドが常時同行します。研修先での説明や質疑応答は、ガイドを通じて行いますのでご安心ください。



2ヵ国研修と1ヵ国研修の違いはなんですか？

2ヵ国研修では、例年、ベトナムで2日間、カンボジアで9日間の研修を行っており、2つの国を比較して考えることができます。1ヵ国研修と比べ、カンボジアの研修先も多いことが特徴です。1ヵ国研修では、2ヵ国研修と比べ研修数こそ少ないものの、学びの“質”が劣ることは決してありません。金額・期間も、よりお気軽にご参加いただければと設定しています。



一人で参加したいのですか、大丈夫ですか？

例年、お一人で参加される方が多くいらっしゃいます。当財団は、海外渡航経験がない方にもご安心いただけるように、細心の注意を払ってツアーを企画運営しています。ぜひご参加ください。



どんな人が参加していますか？

特に、共通の専門や所属の参加者が多いというわけではありません。これまでに、日本全国の130を越える学校から大学生・大学院生・留学生・専門学生にご参加いただいております。本研修は、様々な地域から、幅広い学年の、それぞれの専門を持つ学生が集まり、多種多様な視野や価値観に触れる機会となります。



研修代金以外に、費用はいくらかかりますか？

研修代金に含まれないものは、空港使用税、航空保険料、個人で加入していただく海外旅行向け保険料、カンボジア入国のためのビザ申請費等で、2〜3万円がかかります。加えて、自由行動時の食事代・お土産代・食事の際、お水以外の飲み物代等が必要になります。3万円程度の米ドルを準備していただければ十分です。



研修日程はハードですか？

日程はハードです。ツアーでは、1日に約3箇所の施設を訪問し、およそ6時間の研修を受けます。研修内容には講演だけでなく、子どもたちとの交流(屋外)なども含まれます。皆さまに充実したツアーを楽しんでいただくため、体調管理について、引率者からの指示には従っていただくようお願いしています。



現地で病気になってしまったら？

現地で病気や怪我をした場合、現地ガイド及び引率者が英語の通じる国際病院までお連れします。体調に異変を感じた場合は、速やかにその旨をガイドまたは引率者にお伝えください。



食事、宿泊施設はどのようなものですか？

自由行動時を除き、衛生基準を満たした食事をご用意します。飲料水は、毎日ミネラルウォーターを配布しますが、現地店舗等で自費購入していただくことも可能です。宿泊施設は、三つ星以上のホテルをご用意します。各部屋にWi-Fi、バス・シャワー、トイレ・タオル等が完備されています。



現地の治安は大丈夫ですか？

各研修先の安全は事前に確認しています。また、ツアーにおいては地雷原であるタイとの国境付近に近づくことはありません。ツアー中の自由時間は4人以上の行動を義務化し、安全性への配慮を徹底しております。現地の治安状況は、外務省の海外安全HPでもご確認いただけます。(外務省 海外安全HP | <http://www.anzen.mofa.go.jp/>)



万一、キャンセルをする場合は？

キャンセルの申請は、お電話またはメールでお受けします。申請時期によってキャンセル料が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



“本当の支援”って、なんだろう。

後援・支援

国際機関日本アセアンセンター

在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館

在大阪カンボジア王国名誉領事館

在日本国カンボジア王国観光省

タイ大使館商務省商務参事官事務所

フィリピン共和国観光省西日本支局

駐大阪大韓民国総領事館

お問い合わせ・連絡先

インターンシップ企画 一般財団法人日本アジア振興財団(JAPF) 学生委員会

大阪事務所

〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-5-25 若杉グランドビル本館 3F

TEL | 06-6351-6855

FAX | 06-6484-9422

E-mail

studytour@japf.or.jp

公式ホームページ

<http://www.japf.or.jp/>

公式LINE

@JAPF_studytour

